

調査検証
コース



雄島地区灯台利活用プロジェクト（灯台×神話）

コンソーシアム名：雄島地区灯台利活用プロジェクトコンソーシアム

対象灯台：雄島灯台（福井県坂井市）

調査検証報告

雄島灯台（福井県坂井市）

雄島地区灯台利活用プロジェクト

コンソーシアム名

雄島地区灯台利活用プロジェクトコンソーシアム

構成団体

IIOプロデュース株式会社、自然景観ガイドグループ「東尋坊マイスター」株式会社glow、一般社団法人Compath、cloudy clouds合同会社

1.調査・検証概要

調査検証を構想した背景

本事業は、地元でも“神の島”と呼ばれている「雄島」という無人島にある灯台とそれに関連した各種調査を行うことで、新しい利活用の可能性と方向性を模索し、将来的な事業化を目指します。本事業（調査検証）を行う背景としては、北陸新幹線が2024年3月に開通して早1年が経過する中、福井県内で長年一番の集客を誇っていた「東尋坊エリア」において、観光客入込数がコロナ前の130万人から約60万人まで大幅に減少し、新幹線開通後も回復の兆しが立っていません。そこで、東尋坊エリアに新たな人を呼び込む仕掛けとして「新たなコンテンツの開発を求める声」が地域の観光関連事業者から出てきています。そこで、本事業では、東尋坊から見る事が出来る「雄島」を切り口に、その島のシンボルの一つである「雄島灯台」をテーマにした魅力あるガイドツアーの開発と散策できるツール（音声ガイド等）を整備することで、雄島灯台周辺のハード面とソフト面の整備の可能性と有益性を示し、東尋坊を訪れた方が雄島灯台もセットで訪れるよう「エリア内における新たな”名所化”」を企てたい。



2.調査検証の目標～明らかにしたい仮説

仮説のメインテーマ：灯台×神話の事業で、灯台を訪れる人を増やす

本事業の舞台となる「雄島」は、太古の昔より存在する無人島で、“航海”と“漁業”の守護神を祀る神社が存在し、現在も航行安全を祈願する神事が400年以上にわたり行われ、「海の恵みと祈りの文化」が今も残る場所となっています。また、現在のモンゴルや朝鮮半島、中国から多くの渡来人が辿り着いた上陸場所と言われており「神話」として今も語り継がれています。その為、島自体が昔から、現在でいうところの灯台的役割（航海の安全、船舶の位置把握、日本の経済水域の表示、船舶乗組員の安心感）を担ってきたという説があります。そこで、こうした説を解き明かす各種調査を行うことにより、「雄島灯台・大湊神社・神話」の知られざる関係性と現在に至るまでの今昔ストーリーを物語化し、地域固有の役割や機能、存在価値を知る事の出来る「雄島灯台でしか出来ないオンリーワンのガイドツアー」を開発し、雄島灯台を目的に訪れる人が増えるという仮説を検証していきたい。

survey 01

雄島灯台の基礎調査

基礎データ、設置された経緯、文献調査

survey 02

灯台の周辺状況と多面的な価値調査

外的要因

- (1) 気象データ、周辺環境データなどの収集、資料の収集やヒアリング
- (2) 灯台周辺に位置する施設等に関して、本事業と絡めた将来的な活用可能性についての調査
- (3) 連携団体が将来的にコンソーシアムの構成員として参画できそうか連携可能性について調査

内的要因

- (1) ガイドツアーのコース設定と安心・安全な運営が可能な事業規模の検証
- (2) 持続可能な運営を実施する為の損益分岐点および参加人数のKPI設定と検証
- (3) 事業化に向けたスケジューリングと理想とする将来ビジョンの設定

survey 03

ガイドツアーの開発および検証

- (1) モニターツアーを実施。アンケート調査を行い定性評価を行う。
- (2) ガイド運営マニュアルおよびガイドスクリプトの作成・活用
- (3) 音声ガイドシステムの活用
- (4) 散策MAPのデザインや記念グッズの検討

survey 04

将来的なニュースバリューを高めるための施策

- (1) ガイドツアーの申込画面に飛べるリンクを関係する場所に貼る。
- (2) 坂井市文化財保存活用地域計画「地域のおたから事業」において、海洋文化資産としての雄島灯台を追加認定登録をする為にまちづくり協議会との関係性構築。
- (3) 雄島フォトコンテストの撮影対象リストの中に雄島灯台を入れていただく。
- (4) インスタグラムの関連ハッシュタグを設定する。
- (5) 事業の核となるキャッチコピーおよび説明文章を設定し多方面で活用する。





おしまとうだい

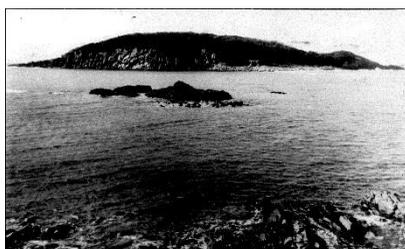
雄島灯台

基礎データ



初点灯	1954年1月26日
灯台の高さ	10.67m（地上-塔頂）
灯りの高さ	39.20 m（平均海面-灯火）
灯質	群閃白光 毎9秒に2閃光
光達距離	12.5海里（約23km）
レンズ	高光度LED灯器
構造	コンクリート造
形状	白色塔型
設計者	不明

設置された経緯



雄島灯台は、福井県内に48基ある航路標識（灯台等）の中で最北端に位置し、さらに島の上にそびえ立つ島灯台。海拔約30mの所にそびえ立つコンクリート造りの白亜の灯台。1954(昭和29)年1月26日。戦後の復興期、日本全国で灯台整備が進んだ流れの中で建てられました。1980年に白熱電球の灯器に変更され、光の点滅を制御する管制器と組み合わせて使用するようになり、その後、1995年に灯台の監視装置が異常を検知し自動送信し迅速な対応が可能になり、2010年に高輝度LED灯器に変更され、遠くからでもはっきりと確認できるようになりました。

関係者インタビュー（抜粋）



DMOさかい観光局
マーケティング戦略室
室長
吉田祥也

これまで、観光地としての整備が難しかった雄島において、このようなコンテンツが開発されたことは、とても素晴らしいと思います。地域の方と連携しながら形に出来たことで、今後さらなる事業の発展に大いに期待ができます。DMOとしても、しっかりとバックアップして参りたいと思います。



宗教法人
大湊神社 宮司

松村典尚

これまで、雄島は信仰の島として、地域でも聖なる領域として活用自体が難しいという認識でいましたが、開発に取り組む皆さんの熱意と今回のツアーを通じて、多くの方が雄島の歴史と文化を知るキッカケになるという前向きな印象を初めて体感し感心しました。

海の恵みと祈りの文化

～渡来人と防人の神話と雄島の灯火～

雄島は、古くから“目印の島”でした。
その島影は、雄大で遠い沖合からもはっきりと見ることが出来、
自分の居場所を示し、海上での安心と安全を守り続けてきた、
まるで、「灯台」のような存在と言えるでしょう。

しかし雄島は、ただの航路の道しるべではありませんでした。
島の中心には大湊神社が鎮座し、神話として地域に伝承される
物語りとともに、「日々の暮らしが無事であるように」と祈りを捧げてきました。

1954年、この祈りの島にひとすじの光が灯されました。
それが、「雄島灯台」です。

荒れる日本海を前にしても消えることのない「その光」は、
古代から積み重なってきた「祈り」と結びつき、
この地域の人々の暮らしを守る「光のシンボル」に意味合いを変え、
今日もその光を灯し続けています。



雄島灯台の基礎調査

雄島灯台および周辺環境調査を行い、開発するコンテンツの開催時期や実施方法などを検証した。調査によって明らかになった、内容の一部をリーフレットに掲載することが出来た。



雄島灯台ストーリーの造成

雄島灯台が聳え立つ「雄島」を目指して訪れた、モックリコックリという神話。地域に伝わる伝承を灯台と絡めながら、雄島灯台ストーリーを造成することが出来た。



雄島灯台散策ガイドツアー開発

「灯台×神話」の事業で仮説を立て全3回のテストツアーを実施。雄島灯台だからこそ、体験することが出来るガイドツアーが完成し、予約受付から実施までの運営体制も併せて構築した。



ノベルティアンケートの実施と記念品を制作

ノベルティアンケートを実施し、開発する記念品の方向性を定め、それに基づき、灯台ランタンの記念品を開発した。記念品は先着順で参加者に配布することとした。



雄島散策MAPを制作

参加者の灯台への理解をより深めるため、さらに参加者にお伝えする「神話の世界観」に没入することが出来るようリーフレットを制作した。



音声ガイドシステムの実装

大人数の受け入れ態勢を整備する為に、チャレンジ事業の際にトライアルしていた、音声ガイドシステムを実装した。

課題

本格的な収益化を実現する為のコンテンツ開発

今回開発した雄島灯台散策ツアーだけでは、将来的な自走化を実現する為の収益性の担保が困難。グッズの開発やコラボ企画も、そもそものしっかりとした土台があった上で、効果が発揮される為、今回蓄積した知識やノウハウを活かした、収益性の高いコンテンツ開発が必須であることが分かった。



施策

謎解きコンテンツの開発

既に100億円の市場に急拡大している「謎解き」に着目し、本事業で培った知識・ノウハウ・ツールを有効に活用した「謎解き」の開発を目指す。①オンライン上で出来る謎解き、②現地に来ないと出来ない謎解き、③両方が結び付いた謎解きをそれぞれ開発することで、収益性を高め自走体制構築に着手する。

課題

自走化を目指した運営事務局の設置

将来的な自走化を目指す上で、運営事務局の設置が必要不可欠ということが分かった。なお、運営事務局には、実際にガイドをする方だけではなく、様々な情報の更新や発信に加え、様々な庶務を行うことが出来る人材が必要であり、こうした人材をどのように獲得していくかが課題であることが分かった。



施策

ガイド運営事務局の組織体制強化

将来的に自走化をする上で、ガイド運営事務局に常設の事務員が今後必要になってくることから、DMOさかい観光局の事業の一環として「ラウンドオペレーター」を設置していただき、そこからの情報などを取りまとめ、調整を行い、ガイドシフトを組む体制の構築を目指す。

課題

事業の熱を下げさせない為到他団体との連携

持続可能な形での運営をしていく為には、事業に対する熱量が下がらないような環境の中に、本事業を位置付けることが理想ということが分かり、連携することで相乗効果を見込むことができる「まちづくり協議会」との事業レベルでの連携が今後必要ということが分かった。



施策

まち協と連携した事業実施に今後取り組む

雄島地区まちづくり協議会が実施している「地域のおたから事業」と連携し、本事業で開発したストーリー「海の恵みと祈りの文化」を土台に、日本遺産登録を目指し様々な諸活動を共に行っていく。また、今後着手する「謎解き」とも連携を目指す。

課題

地域全体の経済波及効果の実現

地域全体の経済波及効果を可視化する為に、雄島灯台と絡んだコラボ商品やコラボ企画の開発を今後進めていくことが重要ということが分かった。よって、今後は、東尋坊商店街や周辺宿泊施設、レストランなどと連携を図り、「点」ではなく「線」の事業展開を図る。



施策

「線」の事業展開により経済活動の紐づけに着手

本事業で開発したコンテンツ+αの領域に着手することで、付加価値を高め、ガイドツアーの高単価化の実現を図る。+αの部分に関しては、開発する「謎解き」と上手く結びつくような構成とし、その価値を高め可視化していく。

2026年1月30日



報道関係者各位

雄島地区灯台利活用プロジェクトコンソーシアム

～ 灯台×神話の事業で、灯台を訪れる人を増やす～

雄島灯台散策ツアーが遂に完成！

2026年4月より一般参加者の受付開始

<開催場所：「雄島」 福井県坂井市三国町安島25-17>

雄島地区灯台利活用プロジェクトコンソーシアムでは、約半年間をかけて地元ガイドと連携しながら、雄島灯台と雄島に伝わる神話「モックリコックリ」を題材にした散策ツアーを開発。2026年4月より体験予約サイト「アソビュー」より受付をスタートし、福井を訪れる観光客を対象に受付開始いたします。本事業は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創造していく「海と灯台プロジェクト」の助成を受けて実施します。



ガイドの話しを聞きながら雄島灯台を目指します



神話を紹介する散策MAPもご用意

<雄島灯台散策ツアーで知れること>

- ① 雄島と歴史的役割と航路標識について
- ② 北前船の船主と燈籠のエピソード
- ③ 信仰と国防（“モックリコックリ”、“東尋坊＝唐人防”）のエピソード
- ④ 雄島灯台について
- ⑤ 自然景観や生態系について



2分間の番組として紹介



参加者インタビューも紹介され、満足度の高いツアーとなった

のべ34媒体

調査検証をふまえた 今後の展開案

事業背景1

◆ ポテンシャル

- ◆ 謎解きの開発による事業化の実現！
有人ガイドで培った知識（暗黙知）を音声ガイドシステムで形式知に変換し、それらをさらに謎解きなどの高付加価値コンテンツに昇華させ運用することで収益化が実現する。
- ◆ コラボ企画（グッズやサービス）の開発・販売！
・灯台周辺宿泊施設や商店街と連携しコラボ企画を実施。
・グッズ等を開発し販売することによる収益源の確保。
- ◆ 雄島灯台ストーリーをベースとした物語が日本遺産登録への重要な足掛かりに！
・まちづくり協議会と事業連携を進めることで、日本遺産登録という地域アイデンティティの造成に貢献。

事業背景2

◆ 私たちが取り組む理由とねらい

- ◆ 全国の観光ガイドが抱えている、有人ガイドの課題を解決することに繋がる音声ガイドシステムを活用した謎解きコンテンツの開発・販売で収益化のモデルケースを目指す。また、謎解きは、現地謎解きとオンライン謎解きの両方の開発を検討し進めることで、収益力を強化し、持続可能な運営の構築を実現していく。
- ◆ ご当地キャラクターや燈の守り人等とコラボしたキーホルダーなどのグッズ開発を行い、さらに周辺の商店街や宿泊施設と連携した事業展開を行うことで、集客促進効果の最大化と事業継続の為の収益源をしっかりと確保していきたい。
- ◆ まち協と連携した事業展開を行うことで、日本遺産登録に向けた活動にメンバーとして参画していく。そして、登録に向けて伴走することで、日本遺産関連文化財群の中に雄島灯台や春日燈籠などの海洋文化財群を、構成の中に入れ、名実共に、地域を代表するコンテンツへと昇華させていく。

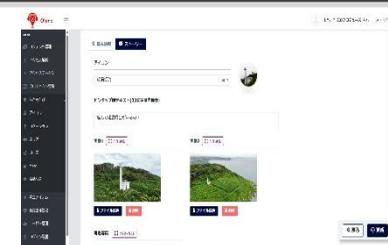
事業概要

雄島地区灯台利活用プロジェクト

雄島灯台と雄島に伝わる、知られざる灯台エピソードを有人ガイドと音声ガイドシステムの両方を活用し、謎解き体験コンテンツを開発することで、全国から人を呼び込む仕掛けづくりを構築し事業化を実現する。また、周辺の宿泊施設や商店街とも連携しグッズの販売等を行うことで、灯台を軸とした新たな地域活性のモデルを作る。



有人ガイドで雄島灯台の魅力を発信



音声ガイドシステムを開発しガイドで活用



灯台周辺の宿泊施設と連携



灯台周辺の商店街と連携

事業名：雄島地区灯台利活用プロジェクト



熱源となる人たち
(核となる主体者)

IIOプロデュース株式会社

全体企画・ディレクション

一般社団法人Compath

ガイド運営事務局
ガイドシステムの管理運用

東尋坊マイスター

有人ガイドの実施
ガイド人材の育成



熱源を支える人たち
(その他の主体者)

cloudy clouds合同会社

謎解きの開発

株式会社glow

音声ガイド生成

雄島地区まちづくり協議会

雄島フォトコンテスト
雄島地区おたから事業（日本遺産登録）



協力者

一般社団法人DMOさかい観光局

Googleマイビジネス
広報支援
ガイド運営事務局のサポート

三国温泉旅館組合・東尋坊商店街

広報支援、コラボ企画への参画

事業名：雄島地区灯台利活用プロジェクト

新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、本事業は以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
✓	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
✓	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

調査検証資料

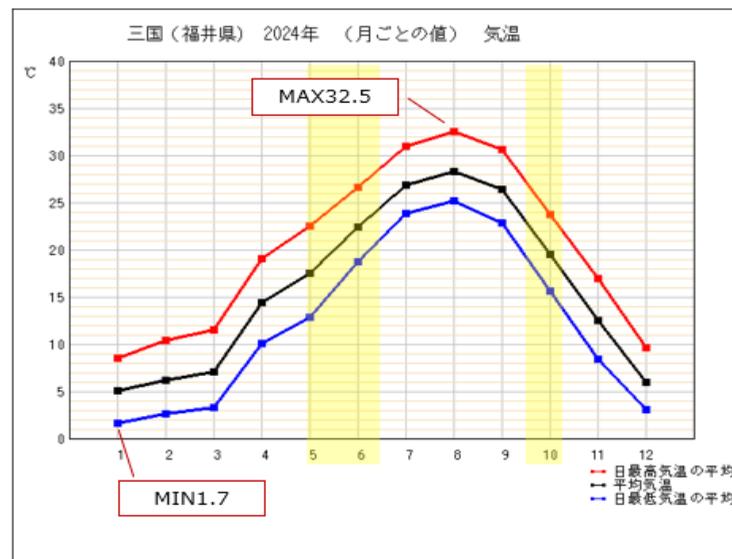
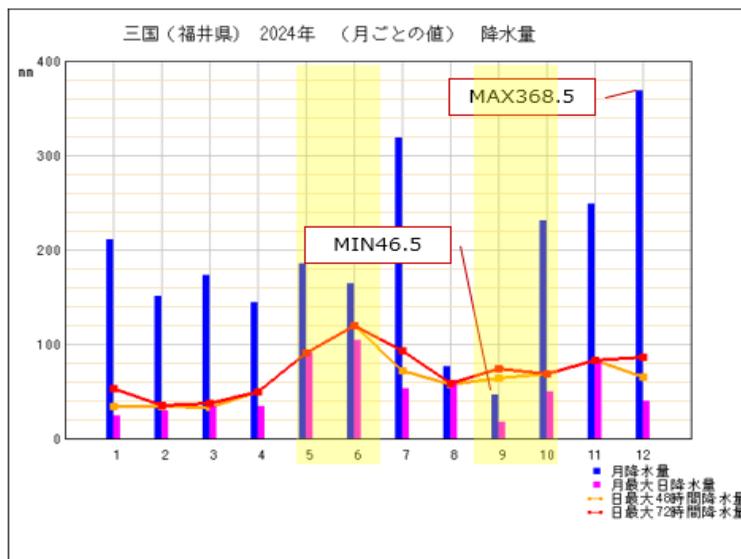
東尋坊雄島エリアの気温、降水量、風速一覧

三国（福井県） 2024年（月ごとの値） 主要要素

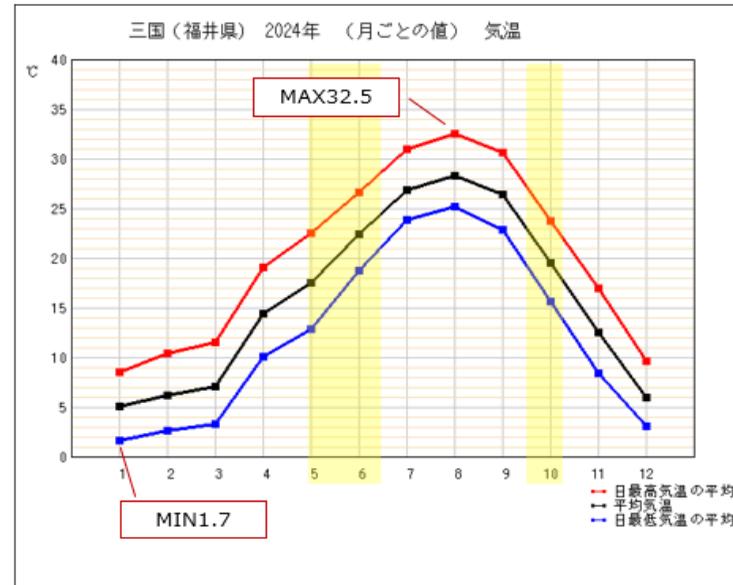
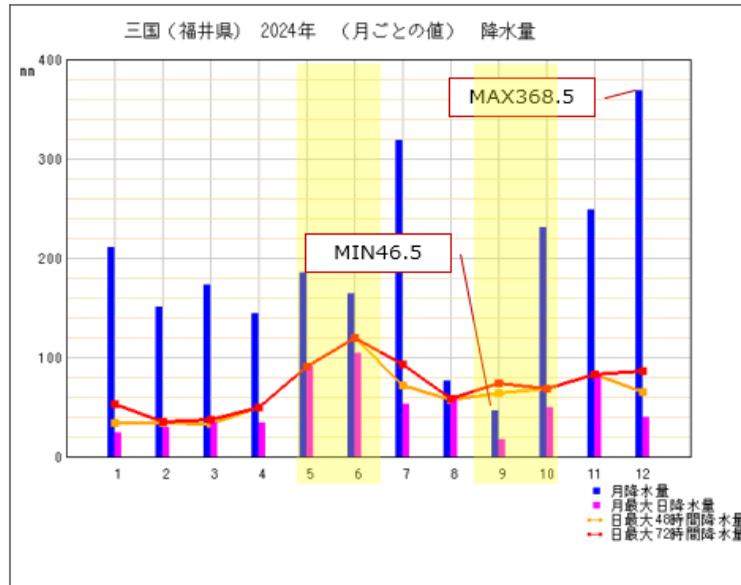
月	降水量				気温				湿度		風向・風速				日照時間 (h)	雪				
	合計 (mm)	最大			平均			最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最小 (%)	最大風速		最大瞬間風速		合計 (cm)	日合計の最大 (cm)	最深積雪 (cm)		
		日 (mm)	1時間 (mm)	10分間 (mm)	日平均 (°C)	日最高 (°C)	日最低 (°C)					風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)					風向	
1	211.5	24.0	8.0	6.0	5.1	8.6	1.7	14.0	-2.3	///	///	4.7	14.3	北北西	22.1	北北西	80.6	///	///	///
2	151.5	30.5	9.5	3.5	6.2	10.4	2.7	20.9	-0.1	///	///	4.2	11.7	南	17.9	北北西	105.4	///	///	///
3	173.5	34.5	6.5	3.5	7.1	11.6	3.3	19.3	-1.6	///	///	4.3	15.5	北北西	23.1	北北西	135.0	///	///	///
4	144.5	34.0	6.0	2.0	14.4	19.1	10.1	28.0	3.4	///	///	2.9	11.9	南南東	17.2	南東	202.2	///	///	///
5	185.0	91.0	10.0	2.5	17.6	22.5	12.9	30.8	7.3	///	///	4.1	15.1	南南東	23.9	南	205.3	///	///	///
6	164.5	104.0	21.5	8.5	22.4	26.7	18.8	34.9	13.8	///	///	3.1	14.5	南南東	19.6	南南東	224.1	///	///	///
7	318.5	53.0	29.0	23.5	26.9	31.0	23.9	35.6	20.9	///	///	2.7	9.5	南	15.5	西	169.2	///	///	///
8	76.5	62.0	28.5	7.5	28.3	32.5	25.2	37.0	22.4	///	///	2.5	12.4	南	18.8	南	262.1	///	///	///
9	46.5	17.5	8.5	6.0	26.4	30.7	22.9	36.8	17.3	///	///	2.7	10.5	南南東	22.9	南南西	211.6	///	///	///
10	231.0	50.5	15.5	9.5	19.5	23.8	15.7	29.0	9.3	///	///	3.3	11.6	南南東	17.1	南	150.9	///	///	///
11	249.0	82.0	16.0	7.0	12.6	17.0	8.4	24.6	3.0	///	///	3.8	15.5	南南東	22.2	南	117.3	///	///	///
12	368.5	40.0	12.5	5.0	6.0	9.7	3.1	17.2	-0.2	///	///	4.6	11.8	北北西	21.8	西北西	44.4	///	///	///

ガイド実施理想：5月～6月(梅雨入りまで)、9月下旬～10月

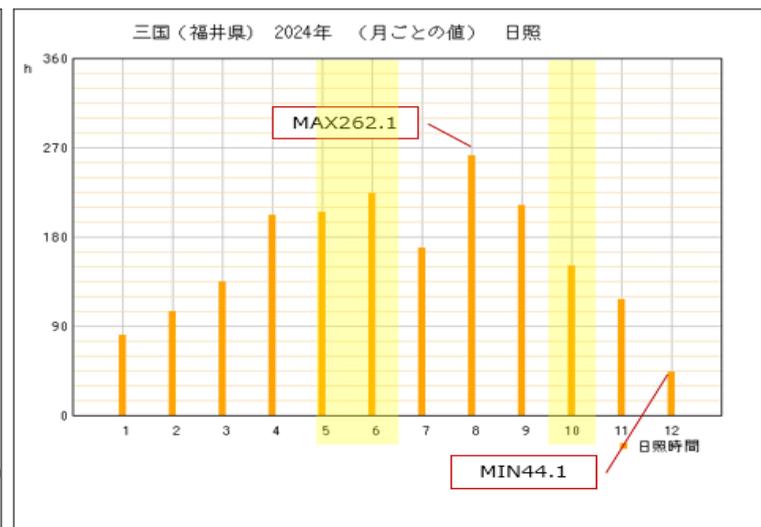
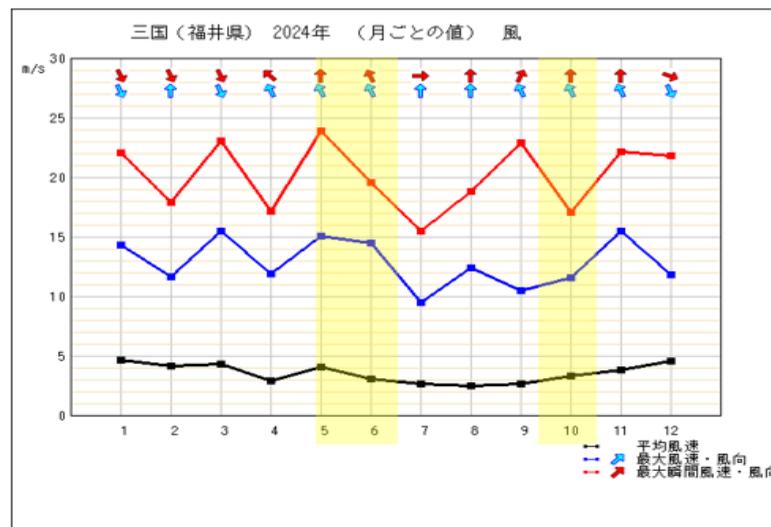
東尋坊雄島エリアの降水量、気温



東尋坊雄島エリアの降水量、気温

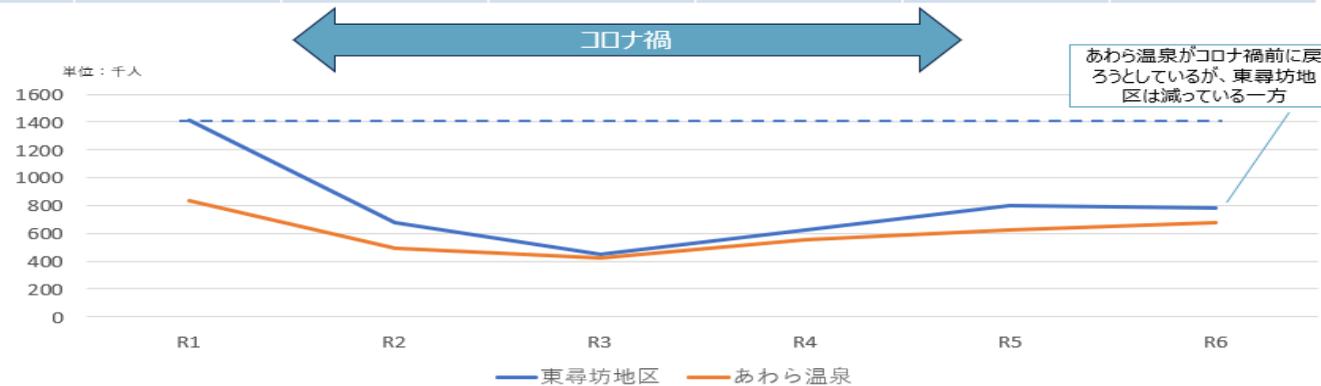


東尋坊雄島エリアの風速、日照

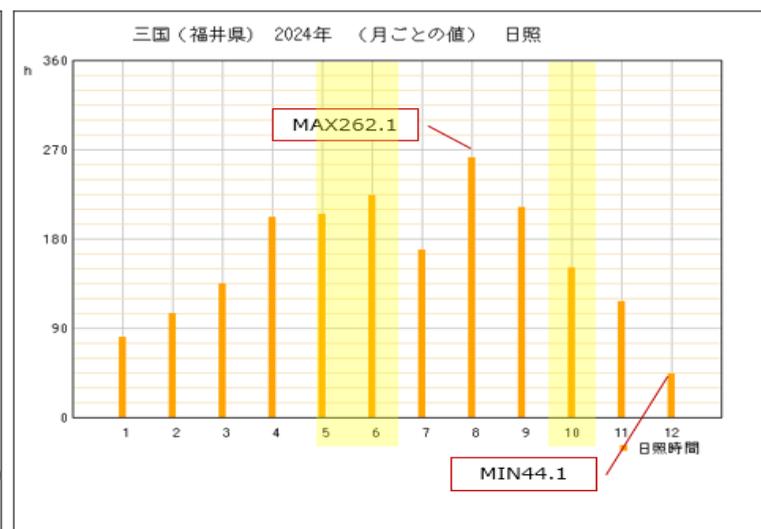
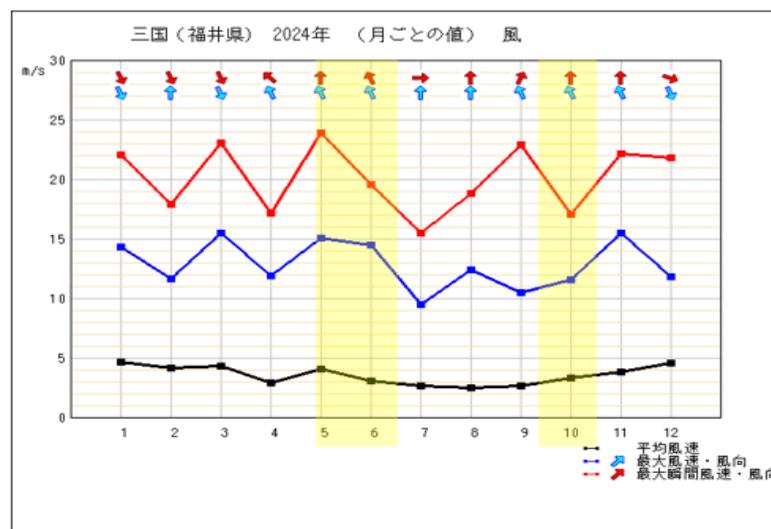


東尋坊雄島エリアの利用者数

エリア名	観光客入込数(千人)					
	R1	R2	R3	R4	R5	R6
東尋坊地区	1,414	676	451	620	801	778
(参考) あわら温泉	838	497	424	551	622	680



東尋坊雄島エリアの風速、日照



坂井市へのアクセス方法



■公共交通機関を利用の場合
 東京から北陸新幹線利用、金沢乗り換え、特急で芦原温泉経由、普通電車JR丸岡駅下車 約3時間20分
 名古屋から特急で福井駅経由、普通電車JR丸岡駅下車 約2時間30分
 大阪から特急で福井駅経由、普通電車JR丸岡駅下車 約2時間30分
※雄島へのアクセスは、芦原温泉駅下車後、路線バスに乗り換えるのを推奨

■車利用の場合
 東京から東名、名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車 約7時間
 名古屋から名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車 約2時間30分
 大阪から名神高速、米原JCTで北陸自動車道、丸岡IC下車 約2時間45分



雄島へのアクセス方法

えちぜん鉄道三国駅から約5km

- タクシーにて 11分、2,500円程度
- 京福バスにて 23分、360円
- 自家用車(レンタカー)にて 11分程度

ハピライン福井(旧JR)芦原温泉駅から約13km

- タクシーにて 20分、5,500円程度
- 京福バスにて 33分、710円
- 自家用車(レンタカー)にて 20分程度



路線バスでのアクセス(2/2)

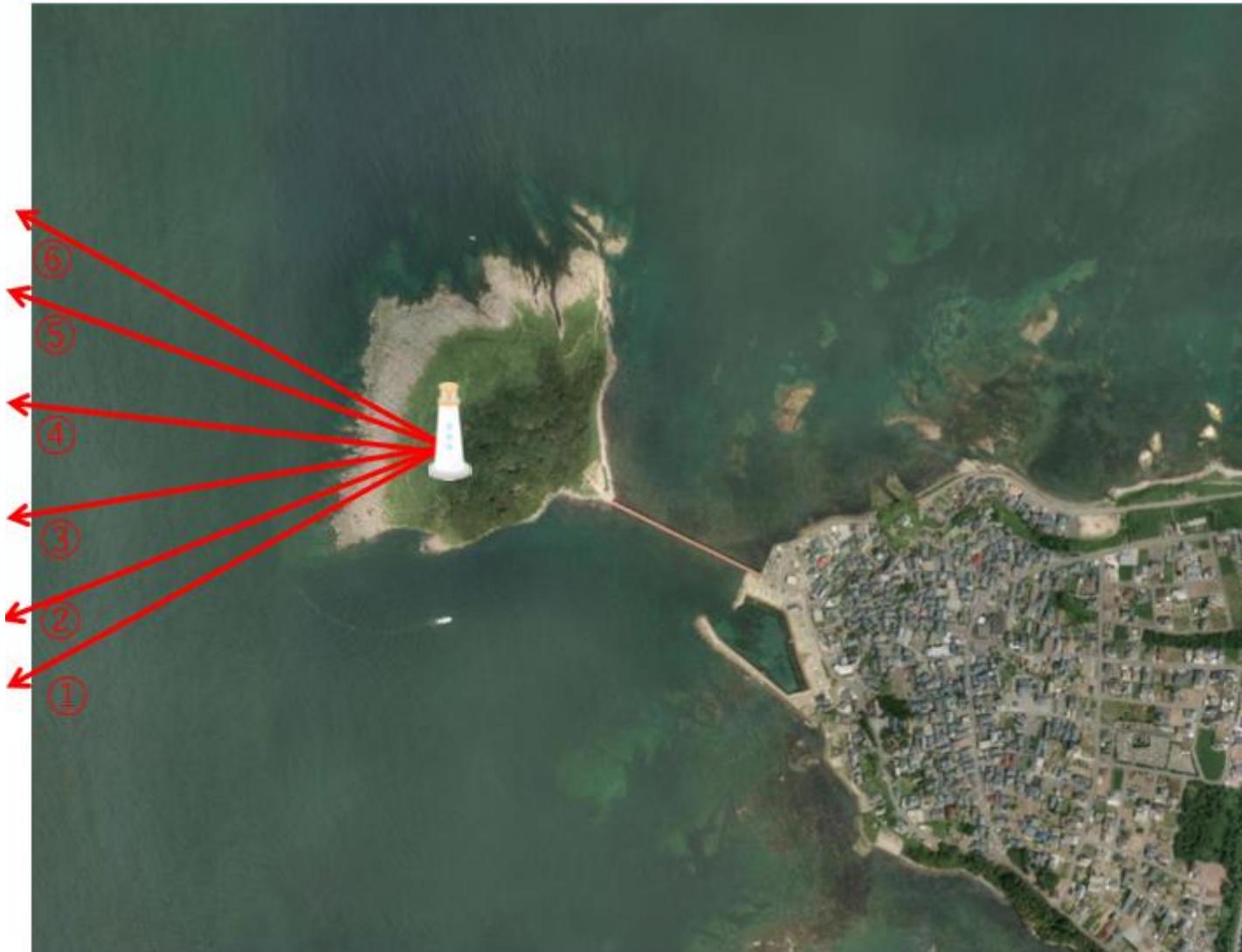
【平日】85・97系統 東尋坊線

平日は1時間に1本、休日は1時間に2本(10、40分発)
逆回りの86・98系統も同様

2024.10.01 実施

	85	85	97	97	97	97	97	97	85	85	85	85	85
芦原温泉駅	07:40	08:40	09:40	10:40	11:40	12:40	13:40	14:40	15:10	15:40	16:10	16:40	18:10
金津水口	07:41	08:41	09:41	10:41	11:41	12:41	13:41	14:41	15:11	15:41	16:11	16:41	18:11
金津小学校前	07:42	08:42	09:42	10:42	11:42	12:42	13:42	14:42	15:12	15:42	16:12	16:42	18:12
金津坂ノ下	07:43	08:43	09:43	10:43	11:43	12:43	13:43	14:43	15:13	15:43	16:13	16:43	18:13
木村病院前	↓	↓	09:44	10:44	11:44	12:44	13:44	14:44	↓	↓	↓	↓	↓
あわら湯のまち駅	↓	↓	09:48	10:48	11:48	12:48	13:48	14:48	↓	↓	↓	↓	↓
セントピアあわら	↓	↓	09:49	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49	↓	↓	↓	↓	↓
温泉街入口第2	↓	↓	09:50	10:50	11:50	12:50	13:50	14:50	↓	↓	↓	↓	↓
坂ノ下一丁目	07:44	08:44	↓	↓	↓	↓	↓	↓	15:14	15:44	16:14	16:44	18:14
三国海浜公園	08:14	09:14	10:08	11:08	12:08	13:08	14:08	15:08	15:44	16:14	16:44	17:14	18:44
安島	08:15	09:15	10:09	11:09	12:09	13:09	14:09	15:09	15:45	16:15	16:45	17:15	18:45
雄島	08:18	09:18	10:12	11:12	12:12	13:12	14:12	15:12	15:48	16:18	16:48	17:18	18:48
東尋坊	08:23	09:23	10:17	11:17	12:17	13:17	14:17	15:17	15:53	16:23	16:53	17:23	18:53
三国港駅前	08:28	09:28	10:22	11:22	12:22	13:22	14:22	15:22	15:58	16:28	16:58	17:28	18:58
豎町永正寺	08:29	09:29	10:23	11:23	12:23	13:23	14:23	15:23	15:59	16:29	16:59	17:29	18:59
三国湊北前通り	08:31	09:31	10:25	11:25	12:25	13:25	14:25	15:25	16:01	16:31	17:01	17:31	19:01
三国駅	08:33	09:33	10:27	11:27	12:27	13:27	14:27	15:27	16:03	16:33	17:03	17:33	19:03
三国図書館	08:34	09:34	10:28	11:28	12:28	13:28	14:28	15:28	16:04	16:34	17:04	17:34	19:04
龍翔博物館前	08:39	09:39	10:35	11:35	12:35	13:35	14:35	15:35	16:09	16:39	17:09	17:39	19:09

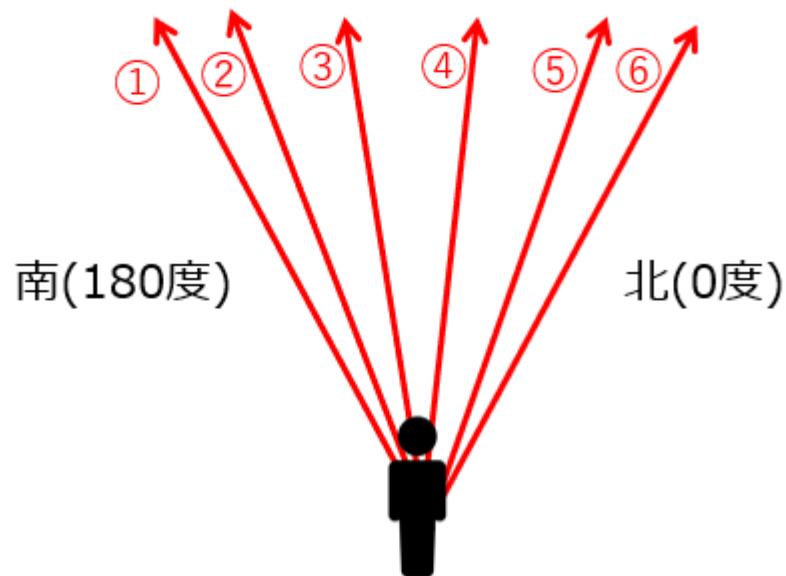
雄島日没の方向(1/2)



番号	月	方向
①	1月、12月	242度
②	2月、11月	250度
③	3月、10月	261度
④	4月、9月	276度
⑤	5月、8月	290度
⑥	6月、7月	299度

雄島日没の方向(2/2)

西(270度)を見た場合の、日没方向



番号	月	方向
①	1月、12月	242度
②	2月、11月	250度
③	3月、10月	261度
④	4月、9月	276度
⑤	5月、8月	290度
⑥	6月、7月	299度

日付	日出	日没
2025年1月1日	07:07:04	16:52:14
2025年2月1日	06:57:30	17:22:17
2025年3月1日	06:27:24	17:50:37
2025年4月1日	05:43:08	18:17:20
2025年5月1日	05:04:06	18:42:48
2025年6月1日	04:41:11	19:07:32
2025年7月1日	04:42:49	19:17:15
2025年8月1日	05:03:10	19:02:11
2025年9月1日	05:27:56	18:25:36
2025年10月1日	05:50:58	17:41:17
2025年11月1日	06:18:32	17:01:21
2025年12月1日	06:48:28	16:42:33





■1回目のテストツアー

開催日: 9月10日(水)14:00~16:00(2h)

参加者: 三田国際学園中学校

参加数: 男性4名/女性9名 計13名



■2回目のテストツアー

開催日: 10月19日(日)15:30~17:00(1.5h)

参加者: 東尋坊サンセット イベント来場者

参加数: 男性3名/女性6名 計9名



■3回目のテストツアー

開催日: 11月28日(金)15:30~16:30(1h)

参加者: 観光関連事業者、メディア

参加数: 男性3名/女性4名 計7名

実施したアンケートフォーム



雄島灯台ガイドツアー アンケート

雄島灯台ガイドツアーにご参加頂きまして、ありがとうございました。
今後の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

iioproduce@gmail.com [アカウントを切り替え](#)
共有なし

* 必須の質問です

1. あなたご自身にあてはまるものをお選びください。*

男性
 女性

2. あなたご自身にあてはまるものをお選びください。*

10代
 20代
 30代
 40代
 50代
 60代
 70代
 80代以上

3. 本日のガイドツアーの満足度を教えてください。*

とても不満 1 2 3 4 5 とても満足

4. ガイドツアーの体験時間について、どう感じただけ教えてください。*

1 2 3 4 5
短い 長い

5. 次のうち、印象に残った雄島のエピソードを教えてください。(複数選択可) *

神話・伝承について(神様への祈り、くじら伝説、もぐりこっくり伝説など)
 雄島灯台にまつわる物語について(国防、航路標識など)
 歴史や文化に関する建造物について(大湊神社、石碑など)
 自然景観について(岩場、植物、海など)

6. ツアーに参加して、「雄島灯台」の役割や価値についての理解は深まりましたか？

1 2 3 4 5
まったく深まらなかった とても深まった

7. このツアーの改善点があれば教えてください。

回答を入力

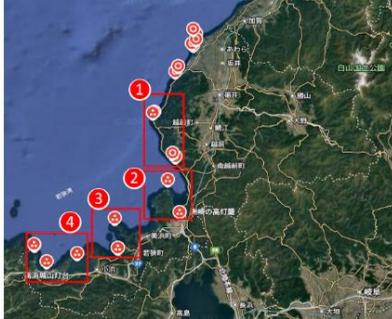
8. あなたが思う、雄島灯台活用のためのアイデアがあれば教えてください。(イベントの開催、グッズ開発など何でもOK！)

回答を入力

9. 雄島灯台以外にも、灯台をテーマにしたガイドツアーがあれば、参加したいと思いませんか？

1 2 3 4 5
参加したくない ぜひ参加したい

10. 福井の灯台には、それぞれ歴史や物語があり、海の絶景と一緒に楽しめます。あなたならどのエリアで体験してみたいですか？(複数選択可)



① 越前岬灯台のエリア(日本海の荒波を隔らす断崖の灯)
 ② 立石岬灯台のエリア(古くから北前船の寄港地として栄えた港町数箇)
 ③ 常神岬灯台エリア(標高200mの山頂に立つ「海と空を結ぶ光の塔」)
 ④ 高浜城山灯台エリア(若狭富士を背に、食の道を見守り続ける海の守り手)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせ - 利用規約 - ヘルプセンター - ヘルプ

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

1. あなたの性別に当てはまるものをお選びください。←

- 1回目 9月10日実施 三田国際 : 男性4名、女性9名（13名中13名回答あり）←
- 2回目 11月4日実施 東尋坊サンセット参加者: 男性3名、女性6名（9名中7名回答あり）←
- 3回目 11月28日実施 関係者ファミツアー : 男性3名、女性4名（7名中6名回答あり）←

2. あなたの年齢に当てはまるものをお選びください。←

- 1回目: 10代12名、60代1名 ←
- 2回目: 50代2名、60代5名 ←
- 3回目: 30代2名、40代1名、50代1名、60代2名←

3.本日のガイドツアーの満足度を教えてください。



【アンケート結果】
満足度は全体的に高水準で安定（変化小）3回の催行を通じて「満足度（5段階）」は5または4となる。回答の分布にばらつきは少なく、高評価であった。

【考察および結論】
満足度はツアー回数を重ねても安定して高い。

4. ガイドツアーの体験時間について、どう感じたかを教えてください。



【アンケート結果】
「体験時間」の評価が3（ちょうど良い）に集中（改善傾向）回数を重ねるにつれ「3=ちょうど良い」への集中が強まっている。

【考察および結論】
時間設定が適正と感じる人が増加。ガイドスクリプトの見直しによりツアー自体の質の改善が、ツアーへの没入感の高まりに至った可能性あり。

5. 印象に残った雄島のエピソードを教えてください



【アンケート結果】

「印象に残ったポイント」の回答が以下のように変化した。1回目は「景色」「歴史」などの回答が多かった。（見て感じたもの）回数を重ねるにつれ、「灯台の役割」「国防としての歴史」「雄島ならではの物語」など、より灯台に関する内容が印象に残ったとの回答が増加。

【考察および結論】

灯台にフォーカスしたガイド内容の洗練・改善により、参加者が“深い学び”を得ている傾向が強まったと考える。

6. ツアーに参加して、「雄島灯台」の役割や価値についての理解は深まりましたか。



【アンケート結果】

回数を重ねるごとに、理解が「とても深まった」の回答が増えている。

【考察および結論】

灯台にフォーカスしたガイド内容の洗練・改善が見られると考えられる。ガイド自身の理解度も回数を重ねる事で、伝えたいポイントや伝え方がレベルアップしていた。

7. このツアーの改善点があれば教えてください。

【アンケート結果】

列が伸びてしまうので、後方にいる人は声が聞きづらかった。灯台の存在を初めて知ったのだが、中にまで入れるとより面白いと感じる。遊歩道が草で歩きづらかった。

【考察および結論】

1回目、2回目、3回目と実施するにあたり、ガイドの内容に関する不満は減っていたが、歩きづらいなどの環境については、催行時期によっては、先に草刈などが必要となる可能性が高い。ガイドの内容に対する改善点というよりは、環境に対する改善の要望を多く感じた。

8. あなたが思う、雄島灯台活用のためのアイデアがあれば教えてください。

【ヒアリング結果】

雄島でしか手に入らないお土産やグッズなどがあるとよい。昔使っていたものの展示や、灯台内を展示施設にするとよい。雄島散策イベント（謎解き）やスタンプラリーといったイベント要素があるとよい。

【考察および結論】

雄島のガイド自体には、知らないことばかりだったので、ただ歩くより良いという意見を現場では聞いていた。もっと良くするという点では、耳だけではなく、実際のものを見たり（展示）、灯台内に入る（体験）や、お土産（手元に残るもの）を開発していくとよりよい活用につながると感じた。

9. 雄島灯台以外にも、灯台をテーマにしたガイドツアーがあれば、参加したいと思いますか。



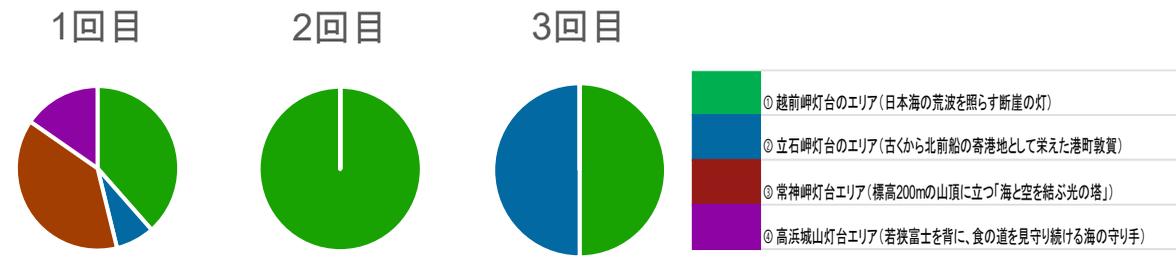
【アンケート結果】

まったく興味を持たなかったという参加者は非常に少なかった。灯台というテーマでそもそも旅行やお出かけは考えたことがなかったとガイドの最中に参加者が言っており、外出の新しい切り口としては面白いと感想を聞いた。

【考察および結論】

灯台一つ一つが持つ魅力への興味が増大し、灯台自体への関心が広がる方向へ変化したと考える。実際に来てみて、ガイドを聞いたことで、期待度が低い状態から、他にもあるなら行ってみたいかも、というところまで関心を持ってもらえたと思う。

10. 福井の灯台には、それぞれ歴史や物語があり、海の絶景と一緒に楽しめます。あなたなら次はどのエリアで体験してみたいですか。



【アンケート結果】

越前岬と立石岬灯台のエリアに人気が出た。1回目、2回目の回答者は福井の土地勘に疎いため、聞いたことがある場所を選択。3回目は福井に住む参加者であったが、結果としては同じような結果であった。

【考察および結論】

地図で位置を示したものの、今回のアンケートでは情報が少なく、雄島から近い位置を選択したと推察される。ただし、福井に住む参加者の回答からも越前岬灯台と立石岬灯台のエリアが多く体験してみたいエリアとなっていることから、次に行く場合の距離感は重要なものかもしれない。

11.まとめ

ツアーを重ねるほど、満足度は高く安定し、理解度と学びの深さが増し、参加者の興味が「雄島だけ」から「他の灯台全体」へ広がっていることが感じ取ることができた。今後はさらなるブラッシュアップを図り、唯一無二のガイドツアーを構築し、日本各地の灯台へ波及していきたい。

